

平成28年度 東北中学校体育大会 第45回 若鷲旗争奪東北中学校野球大会

【準決勝】

育英秀光中（宮城県）

VS

八戸市立下長中（青森県）

育英秀光中，着実に加点し

3年連続の全国大会へ

～下長中，チャンスであと1本出ず～



平成28年8月7日 準決勝第2試合 天候：晴れ 場所：仙台市民球場 時間：12時15分～14時10分

チーム \ イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
下 長 中	0	0	0	0	0	0	0			0
育 英 秀 光 中	0	2	0	0	0	4	×			6

審 判

球審：佐々木

一塁：薄

二塁：西牧

三塁：矢吹

バッテリー

先：下 長 中

金，佐々木－佐々木，對馬

三塁打：三浦（下長） 二塁打：昆（下長）

後：育英秀光中

岩間，大栄－伊藤，木村，水岡



試合経過

2回裏，育英秀光中は一死一，三塁から，敵失で2点を先制する。
3回表，下長中は，一死一，三塁のチャンスを迎えるも，リリーフの大栄に後続を断たれる。下長中は6回表にも，一死三塁のチャンスを迎えるが，またも後続が断たれ得点することができなかった。その裏，育英秀光中は無死二，三塁のチャンスで，代打星と3番千葉蓮の適時打等で4点を加点し，試合を決めた。下長中は，チャンスであと1本が出なかった。

監督談話

須江監督（育英秀光中）

相手は能力が高い選手が多いので，守り勝つ必要を感じ，丁寧にアウトを取っていくよう心がけた。ランナーを三塁に背負う場面でも，冷静さを失わずに守り切ったことで，チャンスが訪れ，積極的に動いていこうという攻撃のテーマに結びつけることができた。

森外監督（下長中）

試合前，全力スイング，全力疾走でゲームを楽しもうと臨んだ結果，長打も出て良かった。選手はのびのびとがんばってくれたが，守備のミスが多かった。フライの打球の質にも相手の強さが感じられた。代表決定戦では，守備でリズムを作って主導権を握りたい。



東北中学校野球大会実行委員会記録広報部